

シティセールス

今回の一般質問では重野議員をはじめ、多くの議員から「シティセールス」についての話題が出ました。いくつもの提案がありました。

このシティセールスとは柏崎市として、「柏崎が有する資源や特性を広く市外に向けて発信していくことで、地域産業の活性化や市民のまちへの誇りや愛着の醸成に繋げていく取り組み」としています。そして今後は、「市民一人ひとりが柏崎のセールスパーソンとして市外に向けて柏崎の魅力を発信していく」としています。

柏崎市ではこのシティセールスの一環として、今年3月26日（土）と27日（日）に東京都の秋葉原で「THE★オール柏崎大交流会」を開催しました。また、シティセールスシンボルマークも決まり、本格的に柏崎市を他の地域に売り出していくという取り組みが始まりました。これからもいろいろな取り組みが行われると思いますので、注視していただきたいと思いますし、一緒に活動できる機会がありましたら、よろしくお願ひします。

小中学校でのフッ化物洗口の是非を考えています

市では小中学校でフッ化物によるうがいをすることで虫歯の予防を行おうとして、各学校で説明会を行い推進活動を進めています。しかし、メリットのみを説明され、デメリットを知る機会はないと思います。県内では柏崎市以外は行っていること、フッ化物洗口を行っていない柏崎市の虫歯数が多いこと（県内では多いですが、全国平均に比べるとすごく少ないのです）などを理由に進めていますが、今まで通り食生活の改善に努め、ブラッシングをしっかり行ていれば虫歯は予防できると言われています。

ちなみにフッ化物洗口は歯周病には全く効果がないことは事実です。このことについて詳しく知りたい方は、重野までお問い合わせください。

平成26年度では、12歳児の虫歯の本数は全国平均1,00本、新潟県平均0,48本、柏崎市平均0,66本です。新潟県は16年連続で日本一虫歯が少ない県です。

平成28年度第2回柏崎市議会報告会

今年度1回目の議会報告会は、5月10日（月）、12日（木）、17日（火）、20日（金）、21日（土）の5日間12か所で行いました。参加していただいた皆様ありがとうございました。

今年度2回目の議会報告会の日程が決まりました。会場については未定ですので、後日出されるチラシや重野のホームページ等でご確認ください。今回も市内12か所で行います。

9月29日（木）、10月3日（月）、5日（水）、7日（金） いずれも19:00～20:30

「重野まさき後援会」への入会を募集しています。ホームページからも入会できます。

後援会事務所 ☎ 0257-24-1671 ホームページ <http://www.m-shigeno.net> メール info@m-shigeno.net

★重野正毅はフェイスブックもしています★

柏崎シティセールスシンボルマーク



人を、まちを、未来を、つなげる

重野まさき通信

第6号 平成28年7月15日発行

発行：重野まさき後援会
事務所：〒945-0072 柏崎市北園町19-47
連絡先：☎ 0257-24-1671
発行責任者：入澤 稔 [後援会内部討議資料]



活躍する重野議員

議員になって1年2か月が経ち、勉強されている姿を拝見しました。

3月議会で一般質問するという話を聞き、初議員だがどんな質問をするか興味深く、傍聴に行きました。そこでは、重野議員の質・量ともにレベルの高い堂々とした質問に感動したところでした。理路整然とした内容など、さすが教師時代の数学担当者だなあと…。また陸上競技の指導者で成果を上げ、熱心なスポーツマンであったことも議員生活に役立っている感がしました。

これからは、さらに幅広く市民との交流の場を多く設け、一層勉強され、市民生活の向上に活躍してくれることをご期待申し上げます。



新潟陸上競技協会顧問
柏崎陸上競技協会顧問
重野まさき後援会員
渡邊亘

6月定例会議終了

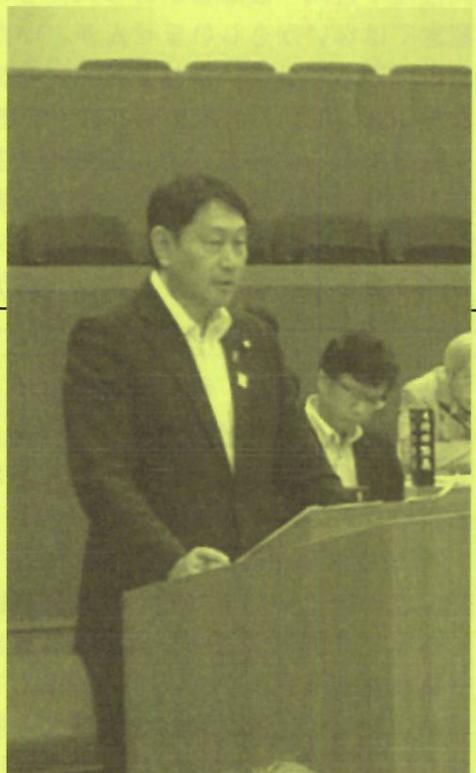
今定例会は補正予算の審議が中心でした。一般質問は11名で、この1年間では最も少ない人数でした。

<一般質問の内容>

1 柏崎市の若者支援、子育て支援等を通しての定住促進について

(質問要旨) 県内では、見附市や糸魚川市などのように、ふるさとを離れて生活をしているその地域出身者がふるさとで「同窓会」を行う時に、補助金を出している自治体がいくつかあります。いずれも、同窓会をきっかけにしてPTAなど次の展開をねらってのことのようです。柏崎市として、同窓会への補助という視点での定住促進についてのお考えをお聞かせください。

中学3年生以下に3子以上をもつ多子世帯へ小中学校の給食費を補助するなど、直ちに多子世帯を支援できる施策を検討し、取り組んでほしいのですが、今後、支援の方向性に改善があるのか、あるいは現段階で何らかの制度、施策を考えているのかをお聞かせください。



(市長答弁抜粋) 平成28年度の取り組みとして定住に関する情報誌を作成し、都市圏をはじめとして積極的に発信していく。提案の同窓会への支援については開催経費の補助をするかどうかは別にして、市内出身者との接点をもつことは極めて有効有益と考える。各種の施策を進めながら、それらのPRを含めた取り組みを研究したい。

(教育部長答弁抜粋) 柏崎市では第2子第3子の保育料についての補助や優遇措置がある。第3子以上をもつ多子世帯への給食費の支援については、今のところ柏崎市としては考えていないが、子どもを産み育てる環境の整備にどう取り組むべきか、総合的に検討していく。

2 柏崎市のキャリア教育について

(質問要旨) 柏崎市でも青年会議所等が中心になって、小中学生を対象とした職業体験などのイベントを行っていますし、中学校の職場体験も計画的に取り組んできた実績があります。キャリア教育の推進を掲げているからには、今後市内全中学校で、具体的な取り組みとして職場体験を5日間行うなど、同一步調として取り組めるように、まずは教育委員会が声をあげ、進めてほしいと考えるのですが、いかがでしょうか。

(教育長答弁抜粋) 平成27年度市内12校全ての中学生は職場体験を行った。連続3日間は6校、連続2日間は6校だった。連続5日間の実施は平成24年に1校が行って以降、授業時数の調整や受け入れ事業所の確保の問題で行っていない。職場体験等の受け入れ先は、平成22年に435か所の事業所が載っているリストを作成したが、以降更新されていない。現在は先ほどの課題の解決については検討中なので具体的な話はできないが、5日間の職場体験が子どもたちに与える効果の大きさは有益だと考える。県内他市の状況を注視しながら、関係機関等との連携、予算措置などどのような課題を克服すべきか具体的な検討をしていきたい。

3 柏崎市におけるLGBTの理解について

(質問要旨) Lはレズ、Gはゲイ、Bはバイセクシャル、Tはトランスジェンダーの頭文字をとったものです。同性愛や性同一性障害がある人たちのことです。LGBTは今はまだ世間一般に広く認知されている言葉や概念ではないかもしれません、いたるところでLGBTの理解がないまま生活をしていると、多くの問題にぶつかってしまいかねません。今後、柏崎市としてこのLGBTの理解等について学校教育で、どのような扱いをしていく方向であるのか教えていただきたいと思います。

今はまだこれらのことに対する嫌悪感を抱き、目をそらす人もいるかもしれません、今の子どもたちが大人となり生活する未来では、当たり前のことになっているかもしれません。今の大人も目をそらさず、向き合い、偏見をもたないように子どもたちに指導したり、将来のそれなりの制度を見据え、現在の取り組みをしたりしていくことも必要だと思います。これらについてのお考えを聞かせてください。

(教育長答弁抜粋) 文科省は平成28年4月1日に性同一性障害等の児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について教職員向けを発表した。学校で年2回以上実施する人権教育の研修の際にこの資料とともに実際の対応について研修することを指導するとともに、教育センターで行われる人権教育に関する研修でもこの情報を伝えていく。

(市民生活部長答弁抜粋) 柏崎市では平成24年3月に人権教育啓発推進基本方針を策定した。多様な性の在り方については様々な場面で議論されている。先の国会は6月1日に閉会したが、5月27日にLGBT差別解消法案が衆議院に提出された。社会全体も少しずつ変わってきた。市民はもちろん行政や事業者もLGBTを正しく理解していく必要があると考える。現在の市の指針についてはLGBTの記述はないが、基本指針の見直しを行っているところであり、LGBTを人権の問題であるととらえ、盛り込み、方向性を示していきたいと考えている。



見附市への視察

今回の一般質問では、前半は「シティセールス」として、柏崎にある資源を売り込むというものではなく、子育て世代や若者にとって暮らしやすい制度をつくり、それによって柏崎のよさを広げていくという提言型でした。後半は「教育」としてキャリア教育とLGBT教育でした。小中学校でしっかりとキャリア教育を行うことで、子どもたちは柏崎のよさを実感し、将来地元での定住につながっていくと考えます。LGBTの理解を深める教育やその環境整備は、今まであまりなじみのない言葉ですから敬遠されがちですが、若いうちからその理解はしっかりとおかななければ大変なことになりかねないと警鐘を鳴らすようなものでした。

<賛否が分かれた意見書>

この6月定例議会には毎年「少人数学級～」「義務教育費～」についての意見書は提出しています。柏崎市議会としては採択（賛成多数）しているのですが、国の制度改革につながなく、その年ごとに国の動向や社会の情勢を考えながら、毎年の提出になっています。今回は他の会派から「教育環境～」についての意見書が出されました。国に教育環境の充実を求めるについては反対する理由がないので賛成総員で可決しました。ただ、この意見書には市民レベルの視点が含まれていない内容です。市民レベルの視点で書かれているような意見書（子どもの安全や健全育成が最優先）であっても、普段は教育や子育てのことを自分の政治活動として言っている人の中にも賛成しない議員がいることが分かりました。

いろいろな意見をもった議員がいますが、重野は普段からの政治活動と矛盾がないように、そのときによって態度を変えず、誠実に物事に向き合い、自分の責任によって適切に判断しています。



意見書	議会の可否	重野の賛否	備考・重野の立場
少人数学級の早期実現の意見書	可決	賛成	意見書提出者。25名中16名賛成。 35人以下学級かつ下限25人の撤廃。
義務教育費国庫負担制度拡充の意見書	可決	賛成	意見書提出者。25名中16名賛成。 国負担率を3分の1から2分の1へもどす。
教育環境の充実・強化を求める意見書	可決	賛成	賛成総員。市民の立場で書かれた上記の2つの意見書とは異なり、内容として国や省庁間での議論について書かれていた。

参加した研修・視察 (重野まさきのホームページに詳細を載せてありますのでご覧ください)

期 間	場 所	内 容
4月11日(月)	自然浄化センター	バイオガス発電事業の現状視察
4月14日(木)～15日(金)	滋賀県	市町村議会議員特別セミナー 養父市の農業・神山町プロジェクト・島前高校
4月27日(水)	柏崎市役所	柏崎市の介護・特別養護老人ホーム等の現状
5月10日(火)	柏崎市役所	民生委員についての様々な状況
5月18日(水)	見附市	ふるさと同窓会助成・第3子以降の給食費補助
5月19日(木)	長岡市	放置自動車の発生の防止及び処理に関する条例
6月 2日(木)	見附市	災害時避難計画の在り方等の視察

9月定例会議の予定

9月5日(月)～10月11日(火)

9月8日(木)・9日(金)が一般質問。

9月は決算委員会として、昨年度の実施事項の確認等があるため期間が長くなります。

一般質問を組み立てるための調査活動として、個人で、自然環境浄化センターへ行きバイオガス発電事業を視察してきました。(4月11日)

